

認定!

となみブランド
Yonami

となみブランド

庄川おんせん野菜

「となみブランド」認定! 温泉水を使って育てた野菜、「庄川おんせん野菜」が「となみブランド」に認定されました。庄川温泉郷の源泉は、カシウムやマグネシウムが豊富に含まれ、ここに注目し、庄川地域の農家9軒が、源泉を購入し、トマトやカブ、キャベツなど7種類の野菜に与えて栽培しています。育った野菜はみずみずしく、色つやが良い出来で、旅館を利用になられた観光客のみならずにも好評を得ております。現在は3旅館の食事として提供されている他、「道の駅庄川」でも販売されております。

庄川温泉郷新聞

第9号
発行：庄川峡観光協同組合
砺波市庄川町金屋1550
電話 0763-82-5696
FAX 0763-82-4213
shogawakyou.com



厄払い鯉の放流

今年は雪のない、雨降りの「厄払い鯉の放流」となってしまうかもしれない。

前日に行われた「こいつび&ぶくつち」の対面式には、安城市から七夕親善大使を迎えて、こいつびとぶくつちが久々のご対面&チュー。そして当日、一月七日。金屋神明宮でお祓いを受けた厄年のみなさん、二十五歳の男性が二人、三十三歳の女性が六名、四十二歳の男性が十九名、庄川水記念公園内にある、鯉の放流場へ鯉にお神酒を与え、厄払いの願いととも、庄川へと鯉を放流いたしました。

引き続き行われた、一般参加による第二部では東山見保育園児をはじめ、一般の方による略式の「厄払い鯉の放流」。略式といっても、ちゃんと神主さんのお祓いを受け、鯉にお神酒をあげて、園児たちは、恐る恐る桶の中の鯉に触れていました。みなさん、今年もよい年でありませうように!



「庄川ゆずまつり」盛大に開催される！
 平成二十七年十一月十四、十五日の二日間、庄川水記念公園において、第二十八回となる「庄川ゆずまつり」が盛大に開催されました。豊作だった昨年の反動で、今年是不作が懸念されていましたが、以前は購入制限を設けた年もありましたが、今年はなんとか一定量を確保し、制限することもなく、みなさんへの販売となりました。
 会場内では、「ゆずみそ田楽」や「ゆずじやが」など柚子を使った一品も楽しめ、また「ゆずのおさしみ」やその場でつくった「ゆず餅」の配布もありました。砺波市と姉妹都市の北海道むかわ町とJAとなみ野と交流のある鹿兒島県知覧町からの出店もあり、会場は大変賑わっておりました。



庄川温泉郷ロゴマーク決定！
 ・コンセプト
 「金屋石探掘跡」をメインに、ゆったり流れる庄川と祠のしめ縄、温泉の湯煙のイメージを重ね合わせたロゴマークです。マーク下の「Non-daily life」は「非日常」という意味です。
 ・カラー
 イメージカラーは、金屋の「金」と青島の「青（濃紺）」です。

庄川オリジナルお土産品「ゆず丸」近日発売！
 庄川峡観光協同組合の「庄川温泉郷活性化ビジョン」中期計画プロジェクトにより、庄川独自の名産品を開発しようという事で商品化を進めておりました「庄川ゆず」を使った新製品「ゆず丸」が、いよいよ商品化されます（平成28年春より販売開始の予定）。
 ゆずの酸味と館の甘味がバランス良く交じり合った上品な一品に仕上がっております。
 旅館のお茶菓子、観光客のお土産、地元産品としてのPRと幅広く販売活動を行っていく予定です。ので皆様、
 “えう！ご期待！”
 旅館のお茶菓子、観光客のお土産、地元産品としてのPRと幅広く販売活動を行っていく予定です。ので皆様、
 “えう！ご期待！”



化粧なおし「鯉恋の宮」
 「鯉恋の宮」が、化粧なおしをしました。コンクリート部分は、高圧洗浄機で汚れを落とし、階段や支柱など以前はオレンジ色の塗装だったものを、燃える赤色に塗り直しました。これで二人の恋もさらに燃え上がる・・・かな？

編集後記
 雪のない暖かいお正月で新年を迎え、このまま春になるんじゃないかと思っておりましたが、やはり除雪作業を行う日が必ず来るようになってくるのか、一月の後半には一気に雪景色に変わりました。
 雪の庄川峡は、静まりかえった水墨画のような世界が広がります。寒いですが、ぜひ一度お越しください。

「やまぶき荘」閉館
 平成二十七年十二月二十四日をもって、みなさまにご愛顧いただいた「やまぶき荘」が閉館となりました。
 今後は、「庄川清流温泉」を楽しめる、健康・福祉・交流の拠点として新たに建設準備が進められています。ご愛顧ご利用いただいたみなさま、誠にありがとうございました。

庄川温泉郷 インバウンドプログラム推進中
 庄川峡観光協同組合の「庄川温泉郷活性化ビジョン」中期計画プロジェクトの国際観光推進プロジェクトが、海外産業人材育成協会の補助を受け、東南アジアから当地へのインバウンドプログラムとして実施されました。
 タイ・シンガポールから7名の観光関係者が1月23日〜1月28日の行程で五箇山・新湊・井波・庄川・アウトレットパーク等を訪れ、庄川温泉郷では2泊し、ロクロ体験・鯉恋の宮・庄川遊覧船等を巡り、雪の時期の庄川温泉郷に感嘆の声が上がっております。
 当組合も遅まきながらも今後のインバウンド対策の第一歩を踏み出した感じです。

